

特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

平成23年度 通常総会

議 案 書

日 時： 平成23年5月31日（火）
午後3時00分～3時45分

場 所： カルビー株式会社内 多目的ルーム
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-3
丸の内トラストタワー本館 22階
電話 03-5220-6223

【交通】 JR「東京駅」日本橋口より徒歩1分
地下鉄「大手町駅」B7出口より徒歩2分
地下鉄「日本橋駅」A3出口より徒歩4分

平成23年度 通常総会 議案

1. 議決事項

第1号議案 平成22年度事業報告承認の件

第2号議案 平成22年度収支決算承認の件

第3号議案 役員選任の件

2. 報告事項

平成23年度第1回理事会において議決された事項

(1) 平成23年度事業計画

(2) 平成23年度収支予算

以 上

第1号議案

平成22年度 事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人

日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

1 事業の成果

設立2年目は、人員や装備等を充実させ、各地に活動場所を広げた。また、活動内容も、ホームページや講演会に加えて、一般市民の手に取りやすい書籍の出版、学会内にブースの設置、キッズセミナーの後援等を行い、より幅広い一般市民・その児童生徒や医療関係者に外科医療の現状を訴求することによって外科医の減少に歯止めを掛け、反転増加に向かうよう努めるための活動を本格化させた。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
外科医療に関する情報の発信事業	ホームページによる情報発信	ホームページを随時更新して、情報配信を継続	当法人事務所(東京都)	1人	一般市民不特定多数	339
	外科学会内にブースを設置して情報発信	22年4月8-10日 日本外科学会	名古屋大学(愛知県)	約30人	外科医及び医療関係者不特定多数	2,405
		22年7月14日 日本消化器外科学会	下関市民会館(山口県)	約30人	外科医及び医療関係者不特定多数	1,700
	パンフレット、チラシによる情報発信	22年10月12日 パンフレット改訂版の配布	日本全国各地	2人	一般市民約10,000人	636
	書籍「きみが外科医になる日」出版による情報発信	22年11月17日 書籍出版	当法人事務所(東京都)	15人	一般市民不特定多数	9,099
	新聞・テレビ等マスメディアを通じた情報発信	22年4月19日 NHK取材協力	東京都内	2人	一般市民不特定多数	307
		22年12月16日 メディアセミナー	東京都内	12人	一般市民不特定多数	2,856
外科医療に関するセミナー・講演会事業	外科医会学術講演会後援	22年6月26日	福井県医師会館(福井県)	2人	外科医及び医療関係者不特定多数	410
	キッズセミナー(外科医の仕事体験イベント)の後援	22年6月26日	福井県医師会館(福井県)	2人	一般の中学生約30人	409
		22年10月9日	徳島大学(徳島県)	2人	一般市民及び児童生徒約100人	474
	日本消化器外科学会における講演	22年7月14日	下関市民会館(山口県)	3人	外科医及び医療関係者不特定多数	460
	活動報告及び情報交換会	22年9月21日	会議室(東京都)	5人	外科医及び当法人賛助会員計24人	358

平成22年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人

日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
入金収入	980,000		
会費収入	34,138,000	35,118,000	
2 事業収入			
(1)外科医療に関する情報の発信事業収入	516,000		
(2)外科医療に関するセミナー・講演会事業収入	0	516,000	
3 補助金等収入			
地方公共団体補助金収入	0		
民間助成金収入	0	0	
4 寄付金収入			
民間寄付金収入	263,000	263,000	
5 その他収入			
利息収入	3,762	3,762	
当期収入合計			35,900,762
経常収入合計			35,900,762
II 経常支出の部			
1 事業費			
(1)外科医療に関する情報の発信事業費	17,342,112		
(2)外科医療に関するセミナー・講演会事業費	2,111,005	19,453,117	
2 管理費			
給料手当	563,082		
法定福利費	51,276		
福利厚生費	81,791		
会議費	169,397		
旅費交通費	392,730		
通信費	288,790		
光熱水費	85,507		
消耗品費	170,581		
荷造運賃	90,830		
交際費	197,070		
事務用品費	620,612		
支払手数料	2,487,835		
地代家賃	1,320,000		
リース料	279,427		
租税公課	73,752		
諸会費	473,000		
減価償却費	189,000		
開業費償却	715,540	8,250,220	

経常支出合計		27,703,337
経常収支差額		8,197,425
当期収支差額		8,197,425
前期繰越収支差額		11,855,694
次期繰越収支差額		20,053,119
(正味財産増減の部)		
Ⅲ 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額 (再掲)	8,197,425	
2 負債減少額	0	
増加額合計		8,197,425
Ⅳ 正味財産減少の部		
1 資産減少額	0	
2 負債増加額	0	
減少額合計		0
当期正味財産増加額		8,197,425
前期繰越正味財産額		11,855,694
当期正味財産合計		20,053,119

- (注) 1. 事業費には、当該事業実施のために直接要する人件費・交通費・減価償却費等の費用を含んでいる。
2. 資金の範囲には、現金・預金、未払金を含んでいる。
3. 減価償却の方法は、ソフトウェアが定額法、開業費が5年均等償却である。

平成22年度 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人

日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	17,382,894	
流 動 資 産 合 計		17,382,894
2 固定資産		
ソフトウェア	613,735	
固 定 資 産 合 計		613,735
3 繰延資産		
開業費	2,146,620	
繰 延 資 産 合 計		2,146,620
資 産 合 計		20,143,249
II 負債の部		
1 流動負債		
未払法人税等	70,000	
預り金	20,130	
流 動 負 債 合 計		90,130
2 固定負債		
固 定 負 債 合 計	0	0
負 債 合 計		90,130
III 正味財産の部		
正味財産		20,053,119
(うち当期正味財産増減額)		(8,197,425)
正味財産合計		20,053,119
負債及び正味財産合計		20,143,249

平成22年度 特定非営利活動に係る事業 会計財産目録

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人

日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	26,754		
普通預金 三菱東京UFJ銀行渋谷支店	475,165		
普通預金 三菱東京UFJ銀行渋谷支店	16,205,275		
当座預金 ゆうちょ銀行	675,700		
流動資産合計		17,382,894	
2 固定資産			
ソフトウェア 情報発信事業用ソフト	613,735		
固定資産合計		613,735	
3 繰延資産			
繰延資産合計	2,146,620	2,146,620	
資産合計			20,143,249
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等 都民税(均等割)	70,000		
預り金 職員給与に対する源泉所得税	20,130		
流動負債合計		90,130	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			90,130
差引正味財産			20,053,119

特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

理事長 松 本 晃 様

監 査 報 告 書

平成23年5月20日

特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会の平成22年度の、収支計算書、貸借対照表、財産目録、事業報告書、役員名簿、社員名簿について監査した結果、正確かつ適正であることを確認いたしましたのでここにご報告申し上げます。

特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

監 事 里 見 進



監 事 高 田 和 男



第3号議案

役員選任の件

本通常総会終結の時をもって理事57名及び監事2名の全員の任期が満了となりますので、役員を選任をお願いするものです。

当法人の活動のいっそうの拡充を図るため、理事を4名増員して61名（重任53名及び新任8名）及び監事2名（重任2名）とし、その候補者は次のとおりです。新任の候補者には氏名の前に※を付しております。

① 理事候補者 61名（敬称略・役職別五十音順）

- | | |
|---------|-----------------------------------------|
| 松本 晃 | 現理事長、カルビー株式会社代表取締役会長兼CEO |
| 北島 政樹 | 現副理事長、国際医療福祉大学 学長 |
| 行天 良雄 | 現副理事長、医事評論家 |
| 加藤 治文 | 現専務理事、国際医療福祉大学大学院 教授
新座志木中央総合病院 名誉院長 |
| 大竹 美喜 | 現常務理事、財団法人国際科学振興財団 会長 |
| 青木 大輔 | 現理事、慶應義塾大学医学部 産婦人科学 教授 |
| 浅原 利正 | 現理事、広島大学 学長 |
| 跡見 裕 | 現理事、杏林大学 学長 |
| 有吉 純夫 | 現理事、エム・シー・ヘルスケア株式会社 代表取締役社長 |
| 井田 義則 | 現理事、いすゞ自動車株式会社 取締役会長 |
| 岩中 督 | 現理事、東京大学小児外科 教授 |
| 上原 治也 | 現理事、三菱UFJ信託銀行株式会社 取締役会長 |
| 内山 齊 | 現理事、株式会社読売新聞グループ本社 代表取締役社長 |
| 梅村 聡 | 現理事、参議院議員
適切な医療費を考える民主党議員連盟 事務局長 |
| ※ 遠藤 久夫 | 新理事、学習院大学 経済学部 経営学科 教授 |
| ※ 大木 隆生 | 新理事、東京慈恵会医科大学外科学講座 Chairman（統括責任者） |

- 岡 正朗 現理事、山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 教授
- 小川 彰 現理事、岩手医科大学 学長・日本脳卒中学会 理事長
- 小川 修 現理事、京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 教授
京大病院 副院長
- 兼松 隆之 現理事、長崎市民病院内 長崎市民病院局 病院事業管理者
- 嘉山 孝正 現理事、独立行政法人国立がん研究センター 理事長
- 北川 雄光 現理事、慶應義塾大学医学部 外科学 教授
- 北野 正剛 現理事、大分大学医学部 第一外科 教授
- 清原 武彦 現理事、株式会社産業経済新聞社 代表取締役会長
- ※ 黒川 良望 新理事、東北大学未来医工学治療開発センター 教授
- 黒澤 博身 現理事、医療法人社団榊原厚生会 榊原サピアタワークリニック院長
- 小柳 仁 現理事、東京女子医科大学 名誉教授
- 島田 光生 現理事、徳島大学大学院 消化器・移植外科 教授
- 島津 元秀 現理事、東京医科大学八王子医療センター副センター長 外科主任教授
- 炭山 嘉伸 現理事、学校法人 東邦大学 理事長
- ※ 関原 健夫 新理事、日本対がん協会 常務理事
- 高本 眞一 現理事、社会福祉法人 三井記念病院 院長
- 竹田 省 現理事、順天堂大学医学部 産婦人科学講座 教授
- 田尻 孝 現理事、日本医科大学 学長
- 田中 滋 現理事、慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授
- 田中 雅夫 現理事、九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学 教授
- 土屋 了介 現理事、財団法人 癌研究会 顧問
- 寺本 明 現理事、日本医科大学大学院 医学研究科長
社団法人日本脳神経外科学会 理事長
- 戸山 芳昭 現理事、慶應義塾 常任理事
慶應義塾大学医学部 整形外科 教授

- 中尾 昭公 現理事、名古屋セントラル病院 院長
- ※ 中島 正治 新理事、社会保険診療報酬支払基金 特別医療顧問
- 野田 良 現理事、コヴィディエンジャパン株式会社 代表取締役社長
日本シャーウッド株式会社 代表取締役社長
- パウエル ティンケル 現理事、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 代表取締役社長
トウケン
- 平田 公一 現理事、札幌医科大学 外科学第一講座 教授
- 古川 俊治 現理事、参議院議員
慶應義塾大学 教授
TMI 総合法律事務所 弁護士
- 邊見 公雄 現理事、全国自治体病院協議会 会長
赤穂市民病院 名誉院長
- 星合 昊 現理事、近畿大学医学部 産婦人科学 教授
- 細川 佳代子 現理事、認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本 名誉会長
- ※ 堀 裕 新理事、内閣府 公益認定等委員会 委員・弁護士
- 堀口 彰 現理事、小林製薬株式会社 医療機器統括本部 特別経営顧問
- 松井 宏夫 現理事、NPO法人 日本医学ジャーナリスト協会 副理事長
- 松田 暉 現理事、兵庫医療大学 学長・兵庫医科大学 理事
- 松本 謙一 現理事、サクラグローバルホールディング株式会社 代表取締役会長
- ※ 松本 純夫 新理事、独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 病院長
- 森嶋 治人 現理事、オリンパスメディカルシステムズ株式会社 代表取締役社長
- 門田 守人 現理事、国立大学法人 大阪大学 理事・副学長
- 山岸 久一 現理事、京都府立医科大学 学長
- 山口 俊晴 現理事、癌研有明病院 副院長・消化器外科 部長
- 四津 良平 現理事、慶應義塾大学医学部 外科学（心臓血管） 教授
- 若林 剛 現理事、岩手医科大学外科 教授
- ※ 王 惠民 新理事、エドワーズライフサイエンス株式会社 代表取締役社長

②監事候補者 2名 (敬称略・現役職別五十音順)

里見 進 現監事、日本外科学会 理事長
東北大学 病院長

高田 和男 現監事、日本テレビ政治部解説委員 医療・科学担当

平成 23 年 度 事 業 計 画

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人

日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会

1 事業実施の方針

情報発信事業、セミナー・講演会事業とも活動のいっそうの拡充を図る。

とりわけ、情報発信事業では、ホームページの充実を図り、一般市民は小学生レベルから医師等現職医療関係者まで幅広い閲覧層に向けたコンテンツとし、それぞれの情報ニーズに的確に応えられるものとするほか、新たな情報媒体としてニュースレターを2か月に一回程度定期刊行し、外科医療に関するホットな情報を提供することによって、裾野の広い購読層の開拓を図る計画である。

セミナー・講演会事業では、一般市民を対象とする「市民公開講座」の開催や、キッズセミナーの参加者を行政機関や立法府の関係者を含む一般市民のレベルにまで拡大して実施していく計画である。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出見込み額(千円)
外科医療に関する情報の発信事業	ホームページによる情報の発信	随時更新を行い情報発信を継続	当法人事務所(東京都)	1人	一般市民不特定多数	2,000
	ニュースレターによる情報の発信	4か月毎刊行(年3回)	当法人事務所(東京都)	1人	一般市民不特定多数	1,000
	パンフレット、チラシによる情報の発信	常時実施	日本全国各地	当法人の会員全員約100人	一般市民不特定多数	1,000
	主要学会において情報発信	年度内に2回程度	学会の開催地	30人	医療関係者・一般市民約400名	1,000
	新聞・テレビ等メディアを通じた情報の発信	年度内に2回程度	東京都ほか全国の主要地域	4人	一般市民不特定多数	1,000
	書籍の出版、頒布による情報の発信	年度内に書籍一冊出版	東京都	1人	一般市民不特定多数	6,000
外科医療に関するセミナー・講演会事業	キッズ・セミナーの開催	年度内に2回程度	主要都市の病院	各3人	一般市民とその子ども約200名	1,000
					行政・立法関係者、一般市民計約200名	1,000
	一般市民を対象にしたセミナーの開催	年度内に2回程度	主要都市のホール	3人	一般市民約1,000名	500
	医大生、病院関係者および一般市民を対象にしたセミナーの	年度内に3回程度	主要都市の病院等	3人	医療関係者、及び一般市民約1,000名	500

報告事項（２）

平成23年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人
日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収入の部		
1 会費・入金収入		
入金収入	1,000,000	
会費収入	20,000,000	21,000,000
2 事業収入		
(1)外科医療に関する情報の発信事業収入	300,000	
(2)外科医療に関するセミナー・講演会事業収入	0	300,000
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	0	
民間助成金収入	0	0
4 寄付金収入		
民間寄付金収入	100,000	100,000
5 その他収入		
利息収入	1,000	1,000
当期収入合計		21,401,000
当期経常収入合計		21,401,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1)外科医療に関する情報の発信事業費	12,000,000	
(2)外科医療に関するセミナー・講演会事業費	3,000,000	15,000,000
2 管理費		
給料手当	600,000	
法定福利費	60,000	
福利厚生費	80,000	
会議費	150,000	
旅費交通費	300,000	
通信費	250,000	
光熱水費	80,000	
消耗品費	150,000	
荷造運賃	80,000	
交際費	150,000	
事務用品費	500,000	
支払手数料	1,000,000	
地代家賃	1,320,000	
リース料	250,000	
租税公課	74,000	
開業費償却	715,540	5,759,540

3 予備費			
予備費	641,460	641,460	
経常支出合計			21,401,000
経常収支差額			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			20,053,119
次期繰越収支差額			20,053,119

- (注) 1. 事業費には、当該事業実施のために直接要する人件費・交通費・減価償却費等の費用を含んでいる。
2. 資金の範囲には、現金・預金、未払金を含んでいる。
3. 減価償却の方法は、ソフトウェアが定額法、開業費が5年均等償却である。